

広報 **やまの**

祝 南砺市二十歳の集い

No.137
2024.3.25

山野地域づくり協議会
〒982-0204 南砺市兼柳屋20
TEL 0763-82-4510



二十歳の皆様に向けて

市議会議員 川原 忠 史

二十歳を迎えられました皆様、おめでとー
ございます。

今日まで深い愛情を注いでこられましたご
両親をはじめご家族の皆様には、喜びもひと
しおのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年12月社人研による2050年の
市の人口推計が発表され、45・8%減の2万
6千人と人口減少が大きな課題であります。
若者や女性の市外への流出の抑制や進学等に
より一端離れられた方に戻ってもらえるよう
様々な取り組みが進められています。

近年井波地域は、B&C、パン屋、珈琲店、
クラフトビル店など地域の若者や移住者に
より、約50件の空き家、空き店舗が再生され
るなど元気があり脚光を浴びています。旧井
波美術館の新たな食の拠点の完成も待ち遠し
く思います。

是非、皆様には山野地区の発展の一役を担
っていただきたく思います。そのことが井波
地域、市の発展へとつながるものと考えます。
結びに、二十歳を迎えられました皆様の今
後ますますご健康でござ幸でありますことを
祈念申し上げますとともに、夢の実現に向け、
邁進されますようお祈り申し上げます。





岩元春希

今回無事に二十歳を迎え、多くの方からお祝いの言葉をいただき大変うれしく思います。これまで育てていただいた家族、山野地域の皆さん本当にありがとうございます。

私は現在、大学に進学し大阪府で暮らしています。自分が興味を持った様々なことにトライしながら生きていますが、日々の暮らしの中で時々山野や井波のことを思い出すことがあります。どこまでも続く田園風景、近くまで迫る山々、接してきた人々の表情など思い出すたびに懐かしく温かく感じます。数年前まで当たり前に私の目の前にあつた光景が美しく雄大で、いかに特別でかけがえのないものかということを実感しています。これからもふるさと山野での経験や学んだことを生かして頑張ります。今回はお祝いしていただき、ありがとうございます。



二十歳の抱負

水井りりこ

二十歳という一つの人生の節目を迎えることが出来ました。今まで支えてくれたすべての人に感謝しています。20年間を振り返ると、本当に様々な方に支えてもらったおかげで今日を迎えることができたと思えます。

私は現在、県内の大学で看護師を目指し、日々勉強に励んでいます。多くの知識や技術を身につけなければならず、大変だと感じることもありますが夢を叶えるため同じ夢を志す仲間と支えあひながら歩んでいます。日々学んでいることすべてはいつか誰かを支えるための知識となると信じて、支えてくれる人たちに感謝をしながら、これからも頑張ります。これまで20年間、どんなときも味方であってくれた家族や、大切に思いあえる友達など多くの方のおかげで投げ出したくなる時も乗り越えることが出来ました。感謝の気持ちを忘れず、今度は私が支えられるように努力し、成長していきたいです。



松川 董

この度、二十歳という人生の節目を無事に迎えられることを大変嬉しく思っております。家族をはじめ、友人、先生方、地域の方々などの皆さんの支えがあつて今日の自分がいると思っております。本当にありがとうございます。

私は大学に進学し、現在は外国の言語や文化を主に学び、日々様々な発見を得ています。他の国の文化や言語を学ぶことによつて、異文化理解を深め、視野や世界観を広げられるよう努力しています。勉学にアルバイトに忙しい日々ですが、困難に立ち向かい、挫折を乗り越える強さを養い、自分の可能性を最大限に引き出していきたいと考えています。また、周りの皆さんの支えがあつてこそ十分に勉学に励むことができているということ念頭に置き、感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。



この度、20年の年月を経て無事に成人の日を迎えることができました。これまで育ててくれた家族、共に切磋琢磨した友達、相談事を聞いてくださった先生方、その他大勢の方々に支えられ成長できたことに心から感謝しています。

私は現在、社会人として県内の企業に就職し働いています。社会に出て2年が経ちましたが、その間に幾度となく困難にぶつかりました。しかし、友達になってくれた同期や優しい先輩方に囲まれ充実した毎日を送ることができています。

まだまだ精神的に未熟で、辛い時や苦しいときに逃げ出したくなることもありますが、自分の恵まれた環境を実感し、常に前を向いて成長し続けたいです。



二十歳の抱負
齊藤 武流



南砺市二十歳の集い
フォトギャラリー



フレイルチェックを受けてみませんか!?

健康福祉部長 川 上 久 志

「いつまでも元気でいるために、日々の健康を維持するために、だから今からフレイル予防。1年に2回のフレイルチェックを受けましょう!」をキャッチフレーズに、3月1日(金)に山野交流センターにおいて、令和5年度2回目のフレイルチェックが行われました。フレイルチェックは、地域包括支援センター、フレイルサポーターの指導のもと実施され、ご夫婦2組を含む25名の方が参加されました。

参加された方のお話です

- ・ 楽しく参加することができました。片足立ちが初めてできてうれしかったです。目標は、社会性を高めることです。
- ・ 片足立ちができずショッフ。ひたすら歩くのみです。
- ・ 自分のために20分程度の散歩をしている。趣味の三味線や農業を行うためにも、とにかく筋肉をつけたい。
- ・ 3回目だった。歯が痛い。腰も痛い。足は今のところ大丈夫。いきいき健康サロンでした運動を時々している。
- ・ 高齢者学級で初めて受けたことがきっかけで今回参加した。受け続けることで自分の体力の変化を知ることができてよい。夫婦で参加した。

お話を伺った全員の方が、次回のフレイルチェックにも参加したい、楽しみにしているとのことでした。



ほのぼの家

楽しいひと時を過ごしました

健康福祉部ふれあい委員会



2月17日(土)に70歳以上で一人暮らしの方、75歳以上のご夫婦でお住まいの方をお招きし「ほのぼの家」が開催されました。招待者14名、ふれあい委員・ボランティアグループ12名が参加しました。おしゃべりタイムの後、音楽療法士の田悟恵さんが登場されると「楽しみに待ってたよ」との声かけもあり、和やかな雰囲気の中、昔の思い出などを話題にしたトークを楽しみ、手足を使い軽い運動をしながらの歌の合唱、最後はNHK朝ドラでお馴染みの「東京ブギウギ」を、一人一人打楽器でリズムを取りながら大きな声で歌いました。皆さん「少し元気になった」「楽しかった」などと話されていました。続いてボランティアグループの皆さんで準備していただいた鍋料理を楽しみました。「大勢で鍋を囲んで食べて大変美味しかった」などの声も聞かれ、皆さんとても満足した様子でした。最後に、用意された20種類のカップ麺をじゃんけんして勝った人からお好みのカップ麺を獲得するゲームを行い、限られた時間でしたが楽しいひと時を過ごしました。来年も多数の参加をお待ちしています。



令和6年度役員紹介

一年間よろしくお願いたします

山野町内会長協議会

会長	永井 信彦
副会長	藤原 洋
〃	齋藤 嘉明
会計	長谷川秀伸
監事	波能 治勇
坪野	藤原 洋
山斐	崎田 栄信
岩屋	岩崎 宏志
飛驒屋	齋藤 嘉明
野能原	長谷川秀伸
井波軸屋	永井 信彦
安室	山崎 茂
清水明	山田 義弘
高屋	高田 繁
専勝寺	梧桐 明朗
会長	細川 忠克(軸)
副会長	高山 光夫(飛)
総務	細川 正成(高)
会計	中山 栄一(坪)
〃	吉岡 進(岩)
〃	長谷川京子(軸)

山野老人クラブ長寿会

高齡者学級長	津田 英雄(専)
〃 副学級長	英 松美(山)
〃 会 計	高山 光夫
〃 会 計	嶋 里子(清)
活動推進員	長井 昭二(山)
〃	藤川 泰子(岩)
女性部長	酒井なをみ(坪)
女性副部長	長谷川京子
文化祭展示委員	長井 昭二
〃	松長ひろ子(飛)
文化祭発表委員	長井 昭二
〃	藤川 泰子
三世代盆踊り委員	吉岡 進
〃	嶋 里子
〃	森田真理子(利)
〃	細川 正成
広報委員会委員	中山 栄一
交通安全リーダー	英 松美
訪問支援活動委員	森田真理子
〃	高山 光夫
防災安全委員	高山 光夫
健康福祉部委員	板橋 秀司
会長	板橋 秀司
副会長	波能 治男
〃	磯辺 紀之
〃	田中 豊明
〃	高田 光春

山野壮年会

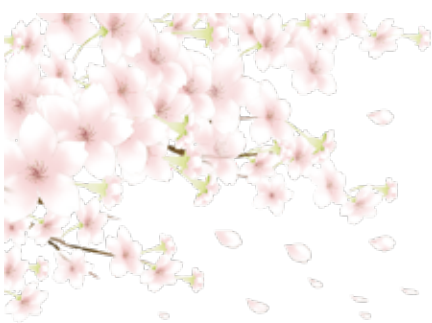
監事	吉田勝裕喜
〃	岩崎 豊久
坪野	板橋 秀司
山斐	吉田勝裕喜
岩屋	岩崎 豊久
飛驒屋	高田 光春
野能原	波能 治男
井波軸屋	稲垣 清人
安室	田原 章吉
清水明	磯辺 紀之
高屋	村岡 裕一
専勝寺	大浦 正人
坪野	澤田 稔樹
山斐	東城 力憲
岩屋	長谷 力
飛驒屋	高山 真一
高屋	高田 拓
専勝寺	川原 直人
清水明	山田 智生
育成会	吉田 茂兼
坪野	藤永 佳宏
山斐	宮林 隆弘
岩屋	山本 里志
飛驒屋	

山野青年会

児童クラブ育成連合会

安室	棚田 忠
高屋	澤田 直樹
専勝寺	鎌 匠志
母親クラブ	
坪野	吉田 歩美
山斐	藤永つばさ
岩屋	齋藤優貴子
飛驒屋	山本有紀子
安室	吉田恵理佳
清水明	磯辺 友美
専勝寺	大浦 絵美

山野青年会及び児童クラブ育成連合会
は、総会前のため地区役員名のみ記載し
ています。



エンジョイビーチボール大会を開催して

スポーツ推進委員長 坂口 通

山野地区バレーボール大会は、山野公民館ができた時から開催されてきましたが、年々参加地区の減少が続いてきました。これは、各自治会が選手を集めることに苦勞する状況が出てきていると思われ、これに対処するため各自治会対抗から自由参加型の大会に変更し3月3日に開催しました。しかし、参加チームの集まりが思ったよりありませんでした。それでも、この大会で様々な年齢層のチームが一堂に集い、参加者同士の交流を深め楽しく盛り上がる事ができました。そして、地区の絆を深める貴重な機会となりました。

今後の展望としては、チーム集めの方法を工夫しより多くの参加者を呼び込むことが必要です。地域の様々な課題に対応しながら地区のビーチボール大会がより発展していくことを期待します。私たちは、地区の皆さんのサポートや協力を得ながら、より魅力的な大会を目指したいです。

優勝チーム 柴川家
前川将吾 谷川快男
前川将士 前川恵弓



第48回 防火ポスターコンクール表彰者

低学年の部

- 金賞 磯邊 隼士 (小二)
- 銀賞 岡野 琴未 (小二)
- 銅賞 澤田 心晴 (小三)
- 岡野 暁士 (小一)
- 吉川 実花 (小一)
- 高田 侑依 (小三)

高学年の部

- 金賞 木村 百花 (小六)
- 銀賞 吉川 侑花 (小五)
- 波能麻里菜 (小六)
- 大谷 馨子 (小四)
- 磯辺 知花 (小五)
- 岡野 洗佑 (小五)

中学生の部

- 金賞 竹原 美遙 (中二)
- 銀賞 大谷 吉乃 (中二)
- 磯辺 悠花 (中三)
- 齊藤 紀久 (中三)
- 荒木 理央 (中二)
- 谷口 千和 (中二)
- 藤永 大成 (中二)

保育園の部 努力賞

- 高田 菜來
- 松岡 玲奈
- 高田 悠生
- 磯邊 彩葉
- 金戸叶珠羽
- 松山陽和太
- 長谷日々人
- 澤田 奏





山野の魅力紹介

2

南砺ひととみらい 協同組合

南砺ひととみらい協同組合からの 人材派遣で地域課題の解決へ

山野地域づくり協議会の特産委員会では、地域の活性化を図るため、ふれあい広場の開催や特産さといもの作付け拡大などに取り組んでいます。また、農業従事者不足などの地域課題の解消のため、南砺市への移住者を採用し、組合員に人材派遣することを目的として設立された「南砺ひととみらい協同組合」に参加しました。この組合は、特定地域づくり事業協同組合として令和4年11月1日に県内で初めて設立されたもので、人口減少に直面している地域で複数の事業者の仕事を組み合わせる年間を通じた仕事を創出し、地域産業における担い手を確保する総務省の制度です。

南砺ひととみらい協同組合では、昨年5名の県内外からの移住者を採用し11事業所に人材派遣しています。山野地域づくり協議会では、組合から派遣された川原弘朗さんにふれあい広場の運営や里芋栽培作業のほか中核農家の負担軽減を図ることを目的に畦畔の草刈り作業に従事してもらいました。この取り組みは、中核農家にも好評で継続の要望が強いことから、地域農業の振興や地域づくり協議会の地域活性化事業の推進を図るため令和6年度も引き続き実施していくこととしています。

南砺ひととみらい協同組合



かわはら ひろあき
川原 弘朗

南砺ひととみらい協同組合の職員として、山野地域づくり協議会のお手伝いをさせていただいております。富山県には12年前に移住して、地元が井波の妻と二人の子どもに恵まれました。

前職は自転車店勤務や建築系レンタル備品の整備や配送、工業系派遣を通じて設計・開発の仕事に関わるなど業種の幅は広いほうで、今回新たに農業の分野に携わらせていただくことになりました。

移住者としてはベテランですが、農業を根幹とする南砺市はまだまだ知らないことが多く、地元の人たちが「何もない」と仰る割には景色が良くて美味しいものがあつて、世界遺産や大自然、ツーリングやサイクリングが楽しい道路、そしてキャンプ場やスキー場まで見どころありまくりで南砺に来て良かったと思っています。

これからもどうぞよろしくお願います。

編集後記

1月1日午後4時10分に発生した令和6年能登半島地震は、最大震度7を記録し広範囲にわたり甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての方々にお見舞い申し上げます。南砺市においても震度5弱を記録し、市内すべての交流センターに避難所が開設されました。幸いなことに山野地区では大きな被害が確認されず、避難される方も一人もありませんでした。しかし、皆さんも大きな揺れにたいへん怖い思いをされたことと思います。当協議会では、今回の地震を教訓に自主防災組織の機能強化や各自治会との連携強化を図るため皆さんとの協議を通して地域防災計画の策定を進めていきたいと考えています。ご理解とご協力をお願いします。また当協議会では、新年度から親子・世代間の交流を目的として「eスポーツ」を取り入れたいと考えています。新しい取り組みを始めるにあたりeスポーツに詳しい方を募集しています。どのような取り組みを進めたいか、アドバイスをいただき、ごどもから高齢者まで気軽に参加できる新たな事業立ち上げに是非とも皆さんのお力をお貸しください。

(広報委員会)